



平成 30 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 三菱重工業株式会社
 代 表 者 取締役社長 宮永 俊一
 (コード番号 7011)
 上 場 取 引 所 東 名 福 札
 問 合 せ 責 任 者 I R ・ S R 室 長 井 上 卓
 (TEL03-6716-3111)

当社連結子会社の資本政策に関するお知らせ

当社は、当社連結子会社である三菱航空機株式会社に係る資本政策を、下記のとおり実施することといたしましたので、お知らせします。

記

1. 資本政策に至る経緯及び資本政策の概要

当社連結子会社である三菱航空機株式会社（以下、「三菱航空機」といいます。）は現在、MRJ[※]の初号機引渡しに向けて開発活動に取り組んでおりますが、2018年3月末時点で1,100億円の債務超過の状況にあります。

三菱航空機の資本を充実させることを目的として、①三菱航空機による1,700億円の増資（当社が全ての募集株式を引き受けることを予定しております。）（以下、「本件増資」といいます。）と②当社による融資債権の一部である500億円の債権放棄（以下、「本件債権放棄」といいます。）を行うことにより三菱航空機の債務超過を解消し、併せてMRJ開発継続のための一定の資金を確保いたします。

※ 「MRJ」は、三菱航空機が開発する次世代リージョナルジェット機

2. 資本政策の内容等

(1) 本件増資と本件債権放棄について

① 本件増資及び資本組入額の総額並びに本件債権放棄

本件増資により三菱航空機が当社より1,700億円の資金を調達した場合、同社は850億円を資本金に計上し、その残額の850億円を資本準備金に計上する予定です。また、当社は三菱航空機への融資のうち500億円を債権放棄いたします。

② 本件増資と本件債権放棄の効果

三菱航空機の払込資本は1,000億円から2,700億円に増加する見込みです。資本金と資本準備金の内訳は、下表のとおり変動することが見込まれます。

	本件増資・本件債権放棄前	本件増資・本件債権放棄後	増減
払込資本	1,000億円	2,700億円	1,700億円 増

資本金	500 億円	1,350 億円	850 億円 増
資本準備金	500 億円	1,350 億円	850 億円 増
累積損失 ※	△2,100 億円	△1,600 億円	500 億円 減

(※ 2018年3月末を基準に計算)

(2) 調達する資金の用途

本件増資により、三菱航空機が調達する資金の主な用途は以下のとおりです。

- ・ MRJ90 の研究開発活動（型式証明取得のための設計・試験活動や各種ノウハウ取得）や事業化準備活動として同社が今後行う支出

(3) 本件増資後の持分比率

本件増資により、三菱航空機の持分比率は、下表のとおり変動することが見込まれます。

	本件増資前	本件増資後
当 社	64.0%	86.7%
他株主	36.0%	13.3%
合 計	100%	100%

(※ 本件増資後の百分率は表示単位以下を四捨五入して表示)

3. 当社連結業績にあたる影響の見通し

子会社の経営成績及び財政状態は、当社の連結財務諸表に随時反映済であり、今回の三菱航空機に係る資本政策が当社連結業績へあたる影響はありません。

以 上